

令和5年度 園の自己評価

		評価 (1～5)	今年度の状況
教育・保育	園児一人一人が安心感と信頼感をもって活動に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにする	4	保育士が見守りながら、様々な経験を行える様にしている。
	主体的な活動を促す環境の工夫をする	3	3歳未満児クラスを中心に、常に素材等を増やし、環境を整えていける様にしている。
	自発的な活動としての遊びを通して指導を行う	3	指導というより、子どもの思いに寄り添える様関わっている。
	園児一人一人の特性や発達に応じた指導を行う	3	一人一人に寄り添いながら行っている。
	活動によって保育所保育指針に示されている3つの資質・能力が育まれている	3	子どもの年齢に合わせ、育まれる様、意識はしている。
	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識し、教育・保育にあたっている	4	意識しながら保育を行っている。
	小学校との連絡会に参加し、小学校教育と円滑な接続ができるように情報交換をしている	4	参加し、情報交換をしている。
健康支援	保健計画に沿った保健活動を行う	4	ほぼ行えている。
	園児の機嫌や食欲、顔色を観察し、平常とは異なった状態かどうか注意を払っている	4	保育士と情報共有し、観察している。
	体調不良や怪我が発生した場合、保護者に園児の状況を連絡し、適切な対応をとっている	4	行っている。
	園児の成育歴や罹患歴、予防接種状況などの情報を把握している	4	ほぼ把握している。
	保健だよりにて情報発信をしている	5	毎月配信している。
	感染症に対して感染症情報を保護者に伝え、感染症予防に努めている	4	情報提供している。
	感染症の疑いのある園児に対し、他児と接触しないようにするなど適切な処置、対応をしている	4	可能な限り対応している。
	睡眠チェックを年齢に合わせて必ず行い、SIDSの危険因子が無いようにしている	4	ココリン(園児見守りセンサー)と保育士によるチェックを行っている。
	AEDの使い方も含めた心肺蘇生法について職員全員が理解できるようにしている	4	年1回職員研修を行っている。
食育	食育計画に沿って園児が食への興味や関心を高めることができるような活動や関わりをしている	5	前年度同様、年齢や季節に合わせた食育活動を行った。自ら体験をすることで苦手な物が食べられるようになったり新しい発見が得られたと思う。
	安全、安心な給食やおやつを提供をしている	4	給食室内の衛生管理を徹底し、下処理や加熱、殺菌をしっかりと行い提供した。
	旬の食材を使用したり、行事食を取り入れたりするなど季節を感じられるような献立作成をしている	5	必ず旬の物を取り入れて献立を作成している。誕生日献立にはおやつに手の込んだケーキを作る等している。
	栄養だよりにて情報発信をしている	5	毎月、給食だよりで食育で行ったことや季節の話題を発信している。
	食物アレルギー対応を適切にしている	5	食物アレルギー児には、アレルギー食材を完全除去した献立を作成し提供しています。
	離乳食は家庭と情報交換をし、一人ひとりに合わせた献立を作成し、提供している	5	1人ひとり食材チェック表を配り、チェック表を配りチェック後にそれぞれの食べ具合に合わせて離乳食を作っている。
環境・衛生管理	室内の換気を適宜行い、室温、湿度や明るさ、音の大きさなど園児が心地よく過ごせる環境を整えている	4	整えている。
	嘔吐物、排泄物の処理に当たっては感染防止のための処理を徹底している	5	年1回職員研修を行い、処理方法には気を付けている。
	衛生的な空間で園児が生活できるよう、丁寧な清掃を行っている	4	行っている。
	調乳や園児の食事介助の際には、手洗いや備品の消毒をするなど衛生面の配慮をしている	5	配慮している。
災害への備え	保育所保育指針、災害への備えに基づき、災害等の発生に備えるとともに、防火設備、避難経路等の安全点検を定期的に行っている	4	行っている。
	保育所保育指針、健康及び安全に基づき、緊急時の対応の具体的内容、手順、職員役割分担について確認をしている	4	会議を行い確認をしている。
	毎月1回、避難訓練及び消火器訓練を行い、反省をして改善点について検討している	5	訓練後、各々が用紙に記入し確認を行っている。
	災害発生時の保護者への連絡、子どもの引き渡しを円滑に行えるよう体制や手順を決め、引き渡し訓練で確認をしている	4	年1回引き渡し訓練を行い、それを基に確認をしている。
	防災備蓄を用意し、保存期間の確認、必要に応じた入れ替えを行っている	4	備蓄を行い、食料に関しては、消費期限が近くなったものから防災メニューとして提供し子ども達も慣れる様にしている。
	園児の人数確認を定期的に行い、所在把握をしている	4	行っている。
事故防止	遊具や玩具の安全点検を定期的に行っている	4	園庭に出る時に行っている。
	園外での活動に際して、事前に危険箇所を把握し、安全に活動できるようにしている	3	情報を共有しながら安全に活動出来るようにしている。
	日常的な事故予防として、ヒヤリハットを収集、分析し、事故予防対策に活用している	4	毎日朝礼時に行い、更に月1回会議としても行っている。
	不審者の対応など危機管理について職員で周知している	3	会議や防犯教室を通して行っている。
子育て支援	睡眠、プール活動、水遊び、食事等の重大事故が発生しやすい場面について、マニュアルに基づきその場面に合わせた適切な対応を行っている	4	常に行っている。
	保護者が積極的に半日保育体験に参加していただけるよう文書や掲示等で促している	4	文書等だけでなく、口頭でもお伝えをしている。
	保護者からの相談に対してはプライバシーの保護や守秘義務を守り、親身に耳を傾ける態度で対応する	4	丁寧な対応を心掛けている。
	状況に応じて内部の体制をとったり、外部機関との連携をとり、適切な家庭支援を行う	4	状況に合わせた対応を行っている。
職員資質向上	地域における子育て家庭の保護者等に対する支援を適切に実施している(育児相談・園庭開放・子育て情報誌)	—	
	内部研修を計画的に行い、職員が共通認識の下で教育・保育にあたることができるようにする	3	あまり出来ていないが、年度末(3月)に全職員対象とした、外部講師による研修を行った。
	キャリアアップを含む様々な内容の外部研修に参加できるよう職員体制を整え、資質向上に努める	4	全員が参加出来る様対応している。